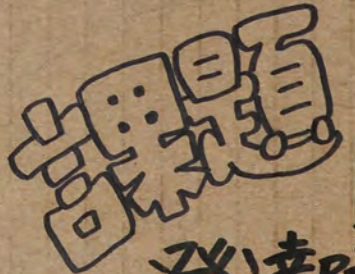


ツナグ〜発達障害者と

企業

解決方法



日本は世界的に見ても発達障害者の多い国です。なんと、

H15〜H25の10年間で発達障害で特別支援を受ける子供が**3**倍以上に急激に増加しています。

日本政府は昨年、障害者雇用促進法を改正し障害者の雇用率を2.2%に引き上げました。

それにより発達障害者の雇用に興味を持つ企業は多方面で増えていますが



“発達障害”について企業側も知識不足で対応策がなく、雇用しづらい。

・障害者雇用での就職先は限られており、自分の希望する職業に就くのが難しい

・発達障害者と企業の方々が互いに理解を深める場がない

① 発達障害者と企業が繋がるHPをつくる。

質問コーナーや自己紹介ページ、発達障害についての説明の掲載を行う。また、インターンシップ希望・募集ページを設ける。

② 発達障害者への対応をゲームにして競う。

発達障害者が会社で円滑に仕事を進められない主な原因として、上司からの指示を理解できないということが挙げられます。抽象的な表現や曖昧な言葉は伝わらないことが多いので、丁寧な指示が求められます。これは「対応力」を競うゲームです。

ホームページ

ある企業の実際に行われ
ている対応や支援を紹介
するページ。他の企業が
参考にできる。

企業が会社紹介を行ったり
発達障害者が自己紹介や
自己PRを行ったりするページ。
出会いの場をつくる。



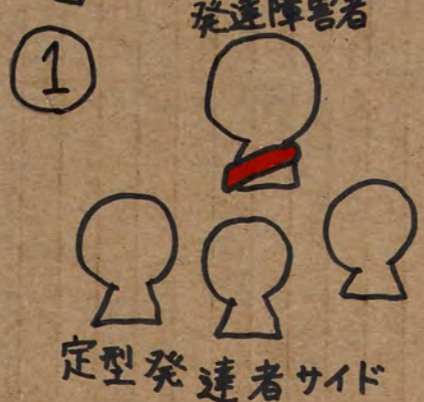
企業側がインタビューの
募集をしたり、発達障害者側
が希望したりできる。

発達障害の主な症状
特徴についての説明が
記載されている。

企業と発達障害者がお互いに質問できるコーナー
企業が発達障害の個人の症状について知り、
発達障害者にどんな配慮をしてもらえるか質問できる。

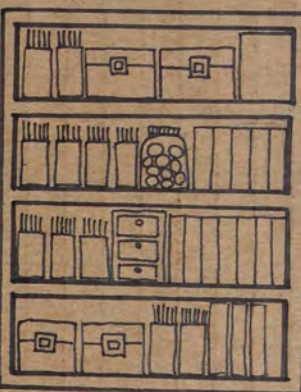
ゲーム

発達障害の「曖昧な指示が苦手」という
特性にたいして「対応力を競うゲームです」



① 定型発達者サイド
4~5人でグループを組み
1人を「発達障害者」役
とする。

② 「この資料
の内容をまとめて
ほしい」という
お題



「発達障害者」役の人に説明
するお題を1つ挙げる

③ 白い棚の上から3段の引き出し付きの小物入れの
左隣の資料をまとめてください。

最初に商品別のグラフを作成してください。
グラフは青色にし、文字のフォントは灰色を
使ってください。

お客様アンケートは Yes/Noの割合をグラフにし
質問や要望は内容がかぶるものを省いて
記載してください。



自己紹介	
名前	
障害について	
障害(診断名)	
障害手帳の 種類・等級	
通院について	

障害の特性、配慮していただきたいこと		
障害の特性	特性の現状対処	配慮していただきたいこと
曖昧な指示 が苦手	「あそこ置いて」と 「急いでないから」など 曖昧な言葉で指示を 受けるのが苦手 →具体的な内容を確 認するようにしている。	なるべく具体的な内容 をメールや書類で指示 また、納期なども日 時を決めて指示して いた方がありがたいです。
聴覚過敏		
不注意 集中特性		

セールスポイント	
手先は器用なので、手作業での細かい作業 は得意です。	
好きなことは飽きずに続けられます。 特に数字が好きなので、計算や数字の問 題などを探すと得意です。	

学校の道徳の時間や
企業のオリエンテーションで
行い、理解を深めよう!

お題をもとに説明し、一番
わかりやすく説明できた人
が勝ち!

(評価は全員で行う)